

第1学年2組 道徳学習指導案

指導者 八巻 京平

1 主題名 ものをたいせつに 1－(1) 節度・節制, 自立

2 資料名 「おもちゃの かいぎ」(出典:学研 みんなのどうとく 道徳授業 実践事例集)

3 主題設定の理由

<ねらいとする価値について>

学習指導要領では、小学校の道徳の時間で自己の生き方及び、その基盤となる道徳的価値の形成を図る指導の徹底が挙げられている。低学年では、基本的な生活習慣や善悪の判断、きまりを守るなど、日常生活や学習の基盤となる指導が必要となる。特に物を大事に扱うことや身の回りを整理整頓することは、今後の自立に向けた生活基盤を形づくる上でも大切な習慣になると言える。そこで本時の学習を通して、普段の自分の行動を振り返らせ、身の回りの物を大切に使用しようとする心情を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

<ねらいに関わる児童の実態>

児童の多くは、学校の生活リズムにもだいぶ慣れて、規則を守って行動できるようになってきている。学習指導については、話し合いや発表などの活動を充実させながら物語の読解や算数の文章問題に取り組んでいる。また日々の生活指導の中では、身の回りの整理整頓の仕方や学習用具の扱い方を指導している。しかし、個人差が大きく、身の回りの整理の仕方も身につけてきている児童がいる反面、なかには落とした物を拾おうとしない児童や落とし主を尋ねてもなかなか名乗り出ることができない児童がいる。また、消しゴムを小さく切って遊んでしまう児童も見られる。本時においては、言語活動を充実させながら物を大切にするための意識づくりの機会としたい。

<資料について>

本資料は「みんなのどうとく 道徳授業 実践事例集(学研)」に掲載されていたものである。

子どもに壊されたおもちゃたちが、夜中に集まって相談をする。仕返しをしてやろうという意見が出たとき、フランス人形はけんかになってしまうからと、仕返しに反対する。フランス人形は、子どもの中にもよい子がいるので、おもちゃの国に招待して、仲間になってもらおうと提案し会議は翌日へと続く。

壊されたおもちゃたちとフランス人形のやりとりと、それを聞いていると仮定した人間の子どもの思いを通して、普段の自分の行動を振り返り、物を大切に使うという心情や態度を育てたい。

<金銭教育に関わって>

本主題は、金融教育の「消費生活等に関する分野」で、目標の「健全な金銭観」と関係している。金銭教育を推進するにあたっては、主にもものとのつながりの大切さを学ばせることによ

って、ものやお金を大切にすること、心情・態度の育成につなげたい。道徳教育では、低学年の指導の重点として、基本的な生活習慣の定着が挙げられる。基本的な生活習慣には、健康・安全にかかわること、礼儀作法にかかわること、きまりよい生活にかかわることがある。物や金銭の活用は、整理整頓などとともに、きまりよい生活にかかわることである。子どもたちに、物の価値を正しく理解させ、大切にしようとする心情・態度を育むことは、きまりよい生活を過ごすために必要な指導であると考えられる。

4 本時のねらい

自分の身の回りのものを大切にしようとする心情を育てる。

5 本時の学習

(1) 日時 平成26年11月13日(木) 5校時 (13:00~13:45)

(2) 場所 1年2組教室

6 展開

過程	学習活動と主な発問	学習の様子を看取る視点 予想される児童の反応 金は金銭教育の視点	指導上の留意点 支援
導入 5分	1 日常生活を想起させ、子どもの意識を「物を大切にすること」に方向付ける。 ○みなさんが大切にしているおもちゃはどんな物ですか。 ○どうして大切にしているのですか。	◇自分の生活を思い出しながら、ねらいに対して関心が向いている。 ・ゲームソフト ・ぬいぐるみ ・遊んでいて楽しいから ・買ってもらったものだから	□これまでの経験から思いついたことを発表させる。
展開 前段 15分	2 資料「おもちゃのかいぎ」を読み、会議の内容やフランス人形の提案について話し合う。 ○おもちゃたちは、どうして会議を開いたのでしょうか。 ○仕返しをしようとするおもちゃたちはどんな気持ちだったでし	◇おもちゃたちの気持ちを想像することができている。 ・しかえししようと思ったから。 ・乱暴に使われて嫌だったから。 ・こわされてかなしい。 ・おこっている。	□場面ごとに顔絵や場面絵を提示し、イメージを持って資料に入れるようにする。 □自分の物を粗末に扱ってしまったときの、

	<p>よう。</p> <p>○フランス人形はなぜ反対したのでしょうか。</p> <p>○フランス人形の言う、「よい子」とはどんな子でしょうか。</p>	<p>・けんかになってしまうから。 ・人間の子どもにもよい子がいるから。</p> <p>◇フランス人形の考えについて深く考えることができています。</p> <p>・物をだいじにする子。 ・やさしくつかう子。 ・きちんと片付ける子。</p>	<p>扱われた物のいやな気持ちを出させる。</p> <p>□フランス人形の考えに着目させ、ものを大事に扱おうとすることの大切さにせまる。</p>
<p>展開 後段 15分</p>	<p>3 自分たちの生活をふりかえり、「物を大切にすること」について話し合う。</p> <p>○みなさんが大切にしているものは何ですか。</p> <p>○大切にできていないものはありますか。</p> <p>○みんなの使っているものが、もしも、夜、会議を開いていたとしたら、どんなことを話していると思いますか。</p> <p>○フランス人形の言う、「よい子」と思われるためには、どんなことに気がつけたらよいでしょうか。</p>	<p>☑自分の生活と重ね合わせて物を大切にしようと考えている。</p> <p>◇これまでの自分がものをどのように使っていたかを振り返っている。</p> <p>・しかえしをしようとしている。 ・あの子はやさしいなと話している。 ・あの子はよい子だなと話している。</p> <p>・物を大事につかう。 ・やさしくつかう。 ・乱暴にしない。</p>	<p>□ワークシートに書き込むことで、自分の生活を振り返ることができるようにする。</p> <p>□これまでの自分がものをどのように使っていたかを振り返らせる。</p>

終末 10分	4 教師の話を書く 身近な人が物を大切にしている例を聞かせ、物を大切にすることのよさを感じさせる。 ○教師の話	◇友だちなど周囲の人が物を大切に扱っている様子に気づいている。 ・丁寧に扱っている。 ・使った後の片付けをしっかりとっている。	□身近な例として、水彩絵の具や生活探検バッグ、クーピー、掃除用具の片付け、着替え時の服などを交えて話をする。
	5 授業の感想をワークシートに書き、本時を振り返る。	☑学習を振り返りこれからの生活に向けて、身の回りの物を大切にしていこうとしている。	□ワークシートに書き込むことで、本時の学習を振り返ることができるようにする。

7 本時の評価

物を大切に扱うことのよさを感じている。 (発言・つぶやき)

自分の生活を物を大切にする視点で振り返っている。 (発言・ワークシート)

8 継続する事後指導

- ・学校生活の中で、身の回りの物を大切に扱っている姿が見られたときには、その場で認める。
- ・習慣化を図るため「わたしたちの道徳」の12～15ページを使って身の回りのチェックをし、整理整頓に気を配る時間をもたせるようにする。

9 板書計画

ものをたいせつに
おもちゃの
かいぎ

こわされてかなしい。
いやだな。
らんぼうだな。
いたい、なきたい。

しかえしをしよう

だいじにするこ
やさしくつかうこ
きちんとかたづけるこ
ていねいにつかうこ

もしも
かいぎを
していたら

あの子はやさしい子だな。
かたづけをしっかりとっているね。

らんぼうにつかう子だな。
だいじにしてくれないな。

こんな
きもちで
つかっていいこう

ものをだいじにつかう。
おもちゃをたいせつにする。
ものをらんぼうにつかわない。
かたづけをしっかりとる。